

基礎研究研修プログラム（近畿大学：短期研修 1~6 か月間、希望に応じ 1~2 年程度の長期間）

1. 目的

本プログラムは、医学・生命科学分野の研究者を対象に、基礎的かつ汎用性の高い実験技術の習得を目的とする。希望に応じて、タンパク質の凝集実験、ショウジョウバエ実験などの研究目的に応じた実践的なトレーニングを行う。

2. 到達目標

基礎研究

- 研究の進め方の基本がわかる
- 遺伝子解析の原理・方法がわかる
- 分子生物学実験の原理・方法がわかる
- 免疫染色の原理・方法がわかる
- 培養細胞を扱うことができる
- 動物実験の基本がわかる
- ショウジョウバエ実験の基本がわかる
- 研究計画立案の仕方がわかる

3. 研修内容

基礎研究

- 実験ノートの書き方
- 基礎的な遺伝子解析（DNA/RNA 抽出、PCR など）
- DNA/RNA、タンパク質の分子生物学実験
- 組織免疫染色（細胞）
- 細胞培養
- マウスの運動解析・行動解析、解剖
- ショウジョウバエの組織・病態解析
- オミクス解析

4. 研修プログラム（通院/滞在/短期研修）

期間：1 か月～6 か月 、希望に応じてそれ以上

形式：週 2 日（連日）以上のラボ実習を中心としたハンズオン形式

対象：臨床系研究者、大学院生、若手研究者等

5. 対象者

本学会の教育施設、准教育施設、教育関連施設に所属する学会員。

これまでの受け入れ実績 短期：神戸大、大阪公大、関西学院大、海外（ドイツ、スペイン、インド、韓国）、長期：東京医科歯科大、京都大、大阪大、東北大、京都府立医大、NCNP、早稲田大、東京薬科大、海外（バングラデシュ）

6. 給付

上限 50 万円（本学会の旅費・宿泊費の規定に準ずる）

7. 選考方法

履歴書プログラムの選択・希望施設

申請理由（施設としての必要性、自己アピール。200 字程度）

本人・所属長のサイン

日本神経学会の委員会による承認

受け入れ大学の担当者の面接によるマッチング

8. 提出書類（誓約書等必要であれば）

指定の応募用紙（申請書）

秘密保持契約書

9. フェローの義務

終了報告書の作成（達成度、感想など。800 字程度）を学会と近畿大学脳神経内科学に提出

10. 問い合わせ先

電話：072-288-7205

e-mail：shinnai@med.kindai.ac.jp

担当者：永井義隆、武内敏秀、藤野雄三